

# 研究会開催通知

(昭和55年7月15日～8月31日)

研究会	日	時	会場	備考
コンピュータビジョン	7月17日(木)	10:30～16:30	東北大	前号参照
人工知能と対話技法	7月18日(金)	13:00～17:00	臨床研	同上
計算言語学	8月21日(木)	13:00～17:00	機械振興会館	下記参照

## ◆ 第24回 計算言語学研究会

(主査: 和田 弘, 代表幹事: 西村 恕彦, 田中穂積, 野崎昭弘)

日時 昭和55年8月21日(木) 午後1時～5時

会場 機械振興会館 地下3階1号室

[東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 都営6号線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211]

議題 (1) 実用的な漢字符号系作成の試み

門脇信夫(金沢工大・情報処理工学)

[概要] 英, カナのキーボードでの漢字文入力を, マイコンでもおこなえることを目的として漢字符号系の作成を試みた. 構成の概要について述べる.

(2) 日本語文向き点字符号系作成の試み

門脇信夫(金沢工大・情報処理工学)

[概要] 計算機処理日本語文との対応に便利な点字として, インデックス付4点・点字符号系の作成を試みた. 構成の概要について述べる.

(3) 日本語の数表現の解析 田中康仁(日本ユニバック)

[概要] 日本語の数表現がどのような形式であるか, その種々の形態を分析した. これらの数表現について述べる.

(4) 漢字-カナ変換のその後の展開 荒木啓介(JICST)

[概要] JICST では漢字-カナ変換システムを実用化した. そこで用いられた方法を, キーワード自動抽出等に応用することができる. それらについて述べる.

(5) 機械翻訳システムの海外での研究開発情況 長尾 真(京大・工)

[概要] この4月に, 機械翻訳システムの海外での研究開発情況を視察する機会を得た. その概要を報告する.

## 「情報処理叢書」の刊行について

20周年記念叢書委員会

委員長 高 島 堅 助

電子計算機が世の中に出現して以来三十有余年、この間における情報処理の分野の学問・技術の発展は目ざましいものがある。この分野の範囲は拡大の一路を辿ると共に一方では細分化され、各専門領域は益々その深さを増しつつあり、情報処理にたずさわる者にとってそれぞれの各領域の本質を伝える専門書の出現が待ち望まれていた。

1980年、本学会20周年を迎えるに当り、その記念事業の一貫として、「情報処理叢書」の刊行を企画した。企画に当り、情報処理の分野における最新の重要な領域に関する項目を選び、その現状、思想、動向を記述した一連の専門書を実現することを目的とした。

本目的を実現するため、情報処理学会の十以上に亘る研究会の協力を得て各会を代表する委員からなる叢書出版委員会を構成し、刊行すべき叢書の項目、内容、著者について慎重検討を重ね、十数項目を選定した。

なお本書の体裁については、出来るだけ多くの読者に最新の内容を的確に伝達することをねらって、本質の記述に集約した比較的小冊子の形式をとった。

著者については各領域について第一線に活躍中の気鋭の研究者をお願いしたところ、快よく御賛同、御協力いただき、刊行の運びに至ったことは誠に御同慶に耐えない。

我が国の情報処理の分野の優れた専門家によって執筆された本叢書が、「情報工学」「情報科学」における権威ある専門書として、これら分野の技術者、研究者、学徒にとっての指南書としての役割を果たし、常時愛用されることを期待してやまない。

なお、今後新規項目について本叢書を逐次刊行することを予定している。情報処理学会会員諸氏の今後の御鞭撻、御激励をお願いしたい。

なお、会員特価および刊行予定は下記の通りになっていますので、希望者は送金方法および送付先明記のうえ、学会事務局までお申込み下さい。

書名	著者名	頁数	定価	会員特価	発行予定
データベースマシン	植村俊亮・前川 守	170	1900円	1500円	7月
データベース理論	有澤 博	104	1500円	1200円	7月
コンピュータネットワーク技術	猪瀬 博監修 苗村憲司・田畑孝一・浅野正一郎	114	1500円	1200円	7月
医療情報学	開原成允・稲田 紘	188	1900円	1500円	8月

(以下続刊)

(送料 200 円)

## 欧文誌の原稿募集について

1978年4月に欧文誌“Journal of Information Processing”を創刊いたしました。同誌に論文発表を希望される会員は、下記を参照のうえ原稿を寄せられるようご案内いたします。

### 1. 欧文誌発行の目的

わが国の情報処理の研究水準向上のため、情報処理に関する諸研究の国際交流をはかる。

### 2. 発行計画

- (1) 50ページ×4回/年=200ページ, A4判
- (2) 純学術研究発表誌とし、Paper と Short Note を募集する。
  - (i) Paper (原則として刷上り8ページ以内)——「情報処理」掲載の論文と同じ査読規準に基づき、欧文誌編集委員会で採録を認められた欧文論文。
  - (ii) Short Note (2ページ以内に限り)——「情報処理」掲載のショート・ノートに準じて、採録を認められた欧文による小論文。

### 3. 「情報処理」との関連

Paper と Short Note の和文アブストラクトを「情報処理」に掲載する。

### 4. 論文原稿の書き方

- (1) 用紙はA4判(21cm×30cm)の白紙を使い、1行65ストローク、ダブルスペースで上下3cm(強)の余白を残し、パラグラフは初めを5~6字分あける。この様式で原稿をタイプした場合(図表なしで)24枚で、欧文誌刷上り8ページに当る。なお文章中指定のない場合の記号は立体、数式中の記号は斜体(イタリック)となる。
- (2) 査読の都合上、タイトル、氏名、所属およびアブストラクトを和英両語で別紙に記述する。なお和文アブストラクトは英文アブストラクトの邦訳とする。
  - (i) Paper のアブストラクト——200語以内
  - (ii) Short Note のアブストラクト——50語以内
- (3) 図表(写真を含む)は、完成図(そのまま縮小製版できるもので、縮版した場合の希望のできあがり寸法を指定する。なお、文字は縮版のさいも読める大きさに書く。)を本文と別にし、説明文は別紙にまとめてタイプし、本文の末尾につける。ただし原稿中に図表のそう入場所を指定する。
- (4) 寄稿のさいキーワード表を添付する。(用紙は欧文誌係にご請求ください。)

### 5. 原稿の送付

- (1) コピー4部を送付する。
- (2) 送付先: 情報処理学会「欧文誌係」

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 号

### 6. 別刷料

下記の通り別刷100部を印刷実費の一部として、ご負担いただきます。

ページ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
別刷料	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000	30,000	35,000	40,000	55,000	70,000